

ドン・ユー・ラン兄弟へ
 Rua Artur Azevedo 1537-Apto 91
 Pinheiros-Sao Paulo-SP
 Brazil CEP 05404-004

親愛なるドン・ユー・ラン兄弟へ

わたしたちの最大の関心事であるキリストのからだ、特に主の回復におけるからだの証しのゆえに、あなたとの交わりのために重苦しい気持ちでこの手紙を書いています。わたしたちが従っているこの時代の務めを通して、わたしたちはみな照らされて新約からの光を見ています。神がこの時代において行ないたいのは、キリストの一つからだとしての召会を建造し、キリストの花嫁とすることであり、それは彼が再臨の時に花嫁をご自身に迎えるためであることを見えています。この花嫁は神の家族、新しい人、神の王国です。それは宇宙的であり、すべての国籍、人種、言語の中から再生され、勝利を得た聖徒たちから成っています。この宇宙的な新しい人の中で、キリストはすべてであり、すべての中におられます。神の言葉にしたがって過去 20 世紀の召会歴史を振り返るならば、神が地上における彼の動きの最終地点にまで来ていることは明らかです。神がこの最後の日々に成し遂げる必要があるのは、地球上のすべての地域、すべての国々で彼を愛する者たちを通してキリストのからだの一角が建造されることです。今日の主の回復の中で、このことは、わたしたちの働きの支配的なビジョンであるべきです。そうでないならば、わたしたちはキリスト教の嘆かわしい歴史を繰り返し、さらには地上での神の目的を妨げることでになります。

もちろん、キリスト教が多くのことを主のために行わなかったなどと言うことはできませんが、その働きのほとんどすべては分裂という結果になり、キリストの一つからだの証しを失っています。キリスト教は確かに福音を宣べ伝えてきましたが、その福音を宣べ伝える働きの方法によってキリストのからだは何度もバラバラに切り分けられました（参照、ピリピ 1：15）。同じような結果が、キリスト教の働きのほろんどあらゆる面で生じました。キリスト教の地上における広がりや宗派と分派の広がりであり、信者たちを啓発することは信者たちがお互いに分裂する実行を建て上げることであり、聖書の解説でさえ、信者たちを一つからだの中へと建造することよりは、むしろ彼らをもてあそぶ教えの風を推し進めることになってしまっています。キリスト教の主要な性質は、闇の中にいる世人が見た場合でさえ、不一致、不和、混乱、分裂です。キリスト教が神聖な宝である福音、聖書の真理、神聖な命を持っているからという理由だけで、キリスト教は主のために適切な働きを行なっているということではできません。マタイによる福音書第 13 章 33 節で語られている女のように、キリスト教は自らがパン種を持ち込み、練り粉全体を発酵させることに非常に長けていることを示しています（参照、1 コリント 5：6）。主の回復は、キリストのからだの建造の回復であり、ただ単に福音を宣べ伝えたり、聖徒たちを啓発したり、聖書を教えたりする働きだけではありません。わたしたちはこれらのことを行ないませんが、今日の主の回復の主要な性質は、一、すなわち三一の神ご自身の一であるキリストのからだの一であり、今日、主の回復においてわたしたちが行なっている事は、わたしたちがあずかる特権を持っているその神聖な一をただ維持し、強める方法によるのです。わたしたちがこの主要な性質に配慮しなければ、わたしたちの働きはキリスト教の働きと何ら違いはなくなり、この時代における神の働きとはみなされないでしょう。主の再臨の時に、主の同労者であるわたしたちのうちのだれかに対して、主が「わたしはあなたがたを全く知らない。不法の働き人よ、わたしから去れ」（マタイ 7：13-27）と言明されるならば、何という恐ろしいこと、何という大きな損失、何という恥でしょう。主がわたしたちすべてを救ってくださいますように！

あなたとの交わりにおいて、わたしたちはキリストのからだに関するウオッチマン・ニー兄弟とウィットネス・リー兄弟の文書の務めから数行引用したいと思います。これらの引用は、最近の長老・責任者訓練（2005 年春）のアウトラインの一部です。これらの言葉は、わたしたちすべてにとって大きな助けですが、あなたはその時わたしたちと一緒にいることができなかつたので、それをあなたに示したいのです。わたしたちすべてがそれを祈り読みし、それに従って働きを行なうことができますように。それはわたしたちの間で支配するビジョンを具体化したもの、以下の通りです：

1. 神の永遠のエコノミーはキリストのからだを得ることですから、わたしたちはからだのビジョンを持ち、この支配し統治するビジョンの下で主の回復の働きを行なう必要があります——エペソ 3:3-11. 箴 29:18 前半
2. わたしたちの働きは、主の回復の働きであり、キリストのからだを建造するためです。この働きは、キリストのからだの結晶の意義の天的なビジョンにしがっています——使徒 26:19. 9:1-6
3. 今日わたしたちの行なっている事は、個人的な働きではなく、神のエコノミーの働き、すなわち、キリストのからだを建造することです——エペソ 3:9. 4:16
4. 主の回復におけるわたしたちの働きは、神のエコノミーの働き、キリストのからだの働きです——I コリント 15:58. 16:10. コロサイ 4:11
5. すべての同労者は唯一のからだのために、宇宙的に同じ一つの働きを行なうべきです。働きの出発点はからだの一です——I コリント 16:10
6. いつであれ神の子供たちがからだの一を見る時、彼らは働きの一も見ます。そして彼らは個人主義的な働きから救い出されて、からだの働きへともたらされます。
7. わたしたちが主の回復の中で持っているものは、一人の人の個人的な務めではなく、からだの団体の務めです——4:11-13
8. わたしたちは回復の中で、ある特別な働きを自分の方法にしがって行なうことができるという考えを持つべきではありません。むしろ、主の回復の中にはただ一つの働き、すなわち、からだの働きがあるということを、わたしたちは認識する必要があります——コロサイ 2:19
9. 主の回復の中の主の働きには、ただ一つの働きだけがあるべきであって、異なる働きはあるべきではありません。
10. 雅歌第7章11節の絵によれば、キリストを愛する者は、一つの場所から別の場所へと寄留する（村里に宿る）ことによって、彼女の愛する方と共に全世界（野）のための働きを遂行することを願います
11. 召会、務め、働きは、からだを源として存在し、からだの中でその地位を持ち、からだの益のために働きをしなければなりません——ローマ 12:4-5. コロサイ 2:19. 3:15
12. わたしたちの内での三一の神の働きは、キリストのからだを生み出すことです。これ以外のどんな働きも、神の永遠のエコノミーの中心路線にありません——エペソ 4:4-6
13. 主の回復の中で、わたしたちはみな一つの心を一つの道を持ち、同じ心・同じ思いになって、一人の新しい人の中で一つの口を用いて同じことを語るべきです。それは一つの務めの一つの働きのためであり、一つのからだを建造するためです——エレミヤ 32:39
14. 今日、召会の中のすべての問題は、からだを見ることに欠けていること、またからだに関して無知であることによります
15. わたしたちは神の霊的な働きに触れるとき、彼の法則の制限を受けなければなりません。もしわたしたちが彼の法則からそれてしまうなら、わたしたちは終わりです——参照、民 18:1
16. 新約の務めのリーダーシップは、わたしたちを支配する、神が与えてくださった神のエコノミーに関する啓示のリーダーシップです——26:19

宇宙的なキリストのからだに関するこの支配するビジョンのゆえに、主の回復で今日わたしたちの間にある特定の事柄について、わたしたちはきわめて憂慮しています。それは、出版の働きの問題についてです。時代の務めの出版は地上における主の動きにのリーダーシップがラッパを吹き鳴らすことであり、異なった奉仕者による複数の出版があるなら、わたしたちの間には不確かなラッパの音があり、複数のリーダーシップによる明白な危険性が存在することになります。これは疑う余地がなく、混乱と争論、そして究極的には分裂という結果になります。そのように不明瞭にラッパを吹き鳴らすことは、わたしたちの間にキリスト教の分裂的な性質を持ち込むことになり、また究極的には主の回復を変質させ、キリスト教の一部としてしまいます。リー兄弟は、中国での主の回復の出版の働きについて言いました、「わたしたちは一つの出版しか持っていませんでした。すべてのものは、ニー兄弟の福音書房を通して出版されました。なぜなら出版はラッパを吹き鳴らすことであるからです。わたしたちのラッパの音は、口頭でのメッセージであるだけでなく、それ以上に出版物の中にあるのです」（長老訓練、第8巻「主の現在の動きの命脈」236ページ）。わたしたちはみな立ち上がって、主の回復をキリスト教に変質させるいかなる要因に対しても、わたしたち自身の奉仕者たちによるわたしたち自身の出版に対してさえ、全力で抵抗しなければなりません。

わたしたちはみな、この時代における神の動きを遂行するため、この時代のビジョンと務めが、わたしたちのウオッチマン・ニー兄弟とウイットネス・リー兄弟によって主の回復の内側で啓示され、供給されたことを知っています。彼らの務めはキリストのからだを建造し、分裂を引き起こすことはありません。それは、事実、新約の務めの一部だからです。この務めは主の回復の中で80年以上にもわたってリーダーシップであり続け、また今日の主の回復におけるリーダーシップであり続けなければなりません。ですから、わたしたちの出版の働きは、その唯一の務めをわたしたちがこの二人の兄弟たちから受けてきた通りに出版することでなければならないのです。わたしたちの間に他の兄弟たちによるほかの出版は、それがこの二人の兄弟たちの務めに基づいていたとしても、それに対してほかの色や味わいを加えること、特定の適用のためにそれを再び解釈し直すこと、キリスト教により簡単に受け入れられたりするために、ある場所の地方召会の聖徒たちに理解しやすくするために、それを低くしたり和らげたりすることを意図しているのもあって、その必要性はありません。これは、パン種を入れる女（マタイ 13:33）の原則、キリスト教の方法に相違ありません。主の回復にいるわたしたちの間に、このようなものは決してあるべきではなく、わたしたちはすべてこれに立ち向かわなければなりません。わたしたちの間のある人たちの天然の観念とは逆に、ニー兄弟とリー兄弟はわたしたちの間の新しい信者たちや若い信者たちが理解できないような方法で神のエコノミーの豊富を供給したわけではありません。わたしたちの間で最も新しい信者たちでさえ、何度も繰り返し、この務めがだれにでも最も奥深い意義に至るまで理解され、把握されることができると明らかに示してきています。この務めを単純化したり、多様な奉仕者たちの特定の調味料で味付けしたり、地域や文化の必要に応じてあつらえ直す必要は存在しません。それは、全地におけるすべての諸地方召会の間で一つの証しをするため、キリストの一つからだの一つの務めです。

ドン兄弟、わたしたちが南米におけるポルトガル語とスペイン語での主の回復の出版の働きを見ると、あなたによる書籍が非常に多くあるので、わたしたちは悲しみを覚えます。わたしたちの認識では、あなたの著作には、この時代の務めの啓示や、回復の実行面に対して何も意義あるものを加えません。これらの書籍を出すために多大な労力が費やされている一方で、ポルトガル語版の新約聖書の完訳は、その働きが開始されて以来20年近くも出版されないままになっていることに、わたしたちはやはり悲しみを覚えます。それとは対照的に、ロシア語の新約聖書回復訳の働きは、主の回復がロシアに入ってから五年半以内に完了し、ロシア語を話す聖徒たちはそれを彼らの霊的摂取と消化のために所有しています。すべての場所の聖徒たち、諸召会、同労者たちは、回復訳聖書をわたしたちの間の出版の務めにおける命の供給と神聖な真理の主要な源であると認識しています。ですから、彼らの間であなたの著作を用いた働きが激増している一方で、ポルトガル語を話す聖徒たちにフットノート付の回復訳聖書を提供しないことは、彼らに十分に、あるいは忠信に仕えることにはならないのです。確かに、回復訳聖書を彼らの地域言語に適切に翻訳する人材が今のところない地域が地上にはあります。しかし、ブラジルはそうではありません。ブラジルには、人材を誤用したり、そこにいる聖徒たちの必要を無視したり、キリストのからだの建造のために主の回復全体に対して主が供給してこられたものを放棄したりするという問題が明らかにあるのです。本来は回復訳聖書をポルトガル語に翻訳するために用いることができるはずの人材が地域的な必要のために用いられているという多くの異議申し立てがなされてはいますが、聖徒たちがフットノート付のポルトガル語回復訳聖書を供給されていないにもかかわらず、あなたの著作を次から次に出版するために多くの人材が用いられているという純然たる事実があります。わたしたちが観察しているところでは、それは全く人材の問題ではありません。それは、主の回復における一つの務めに対する負担、意志、飢えの問題です。

最近の報告に基づいて、わたしたちはなぜポルトガル語で回復訳聖書を出すことにそんなにも関心が低いのか理解し始めました。ある忠信で隠し立てをしない兄弟たちが、ある回復訳聖書を使う人々をあなたが公に批判していると知らせてくれました。わたしたちはまたあなたの分け与えについての信頼に足る報告を耳にしており、その分け与えを書き取ったものも持っています。その中であなたは、わたしたちが時代の務めを通して神の言葉から受け取ったものよりも優れている新しい啓示と光を神から受け取ったと主張しています。わたしたちは、ニー兄弟とリー兄弟の務めに関してあなたが「あなたがたには知識は必要はありません；必要なのは霊と命です」と語ったのを知っています。ある人が「回復訳は読んでではありません。ドン兄弟は前進しているのです」と言ったこともわたしたちは知らされてします。加えて、「あなたがたが読むものは何であれ、ドン兄弟の最新の啓示の光の中で

読まれなければならない」と言われていることも知っています。それはある人たちによって「現在の真理」と見なされており、さらに「回復訳聖書が出ていないのでわたしは嬉しい。もし出たらあなたたちは混乱させられるでしょう」と言われていました。しかしながらこのような語りかけがあるにも関わらず、ポルトガル語回復訳を追い求める多くの人たちに対する内側の奥深くからの召しがあることも知っています。

最近ある信頼に足る兄弟によってわたしたちに報告がなされ、別の信頼に足る兄弟によって確認されたところによれば、あなたは御言葉を供給する時、マタイ、マルコ、ルカはその霊の中にいなかったと言ったとのことです。これらの人々の報告を確認するため、2005年2月11日のあなたの語りかけを書き取ったものから引用しようと思います。これはインターネット上でも入手可能なです。

マタイ、マルコ、ルカは主イエスの言葉をすべて記録したものではありません。彼らは彼らが知り、適用できたものだけを記録したのです。しかし本当に重要な言葉に関して言えば、おそらく彼らはすっかり忘れてしまったのです。ですから、親愛なる兄弟たち、ヨハネはほかの弟子たちがいたのと同じ状況にいました。(彼が言ったのは)人々を救って、神の子たちとすることについて言ったことについてです。人々がどのようにして命の中で成長するのか、彼は知らなかったのです。しかし、主を賛美します。パウロはそのビジョンを見ました。すなわち、神の新約エコノミーにおいて、三一の神は三部分からなる人の中へと造り込まれて、わたしたちの三部分から成る人は完全に三一の神によって浸透されて、そのような神聖な命はわたしたちの中で増し加わるのです。その目的については、マタイ、マルコ、ルカの福音書では提示されていません。それは、彼らが書いていた時、彼らはその霊の中にいなかったからであり、それはその霊がすでにあつたからです。(わたしたちの理解では、ドン兄弟はヨハネによる福音書第7章39節で啓示されているその霊について言っているのだと思います)。主イエスは、十字架につけられた後、その霊になりました。しかし、おそらく、彼らはその霊を適用しなかったのです。しかしヨハネは、そのような霊は実際の霊であるとわたしたちに言っています。そのような霊がすでにわたしたちの内側に住んでおられ、わたしたちの内に住むパースンとなっておられ、決してわたしたちから出てしまわれることはありません。その霊は、わたしたちがどのように歩くべきか導き、示してくださる方です。そのような霊のさらに重要な機能は、主がわたしたちに語られた言葉をわたしたちに思い起こさせるといったものがあります。もしわたしたちがその霊の中にいないなら、わたしたちは主が語られたすべての言葉を理解することはできません。いま、わたしたちはその霊の中にあり、主が彼の三年半の務めの間に語られた言葉のすべてが、少しずつわたしたちに思い起こされ、適用されていくのです。

この語りかけのゆえにある人たちは召会の集会に参加することをやめてしまった、との報告もわたしたちは受けています。ドン兄弟、テモテへの第二の手紙第3章16節によれば、聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、またペテロは「聖書のどの預言も、人自身の解釈から出てきたものではありません。なぜなら、どの預言もかつて、人の意志によってもたらされたのではなく、人々が聖霊に動かされて、神によって語り出されたからです」(第二ペテロ1:20-21)と言っています。全聖書が、聖書それ自身によって断言している通り、聖霊によって靈感を与えられたものであることは、ずっと主の回復におけるわたしたちの証しであり続けてきました。マタイ、マルコ、ルカはその霊の中にいなかったと言うことは、クリスチャンの真理に全く逆らっているのです。わたしたちはみな、わたしたちの間のそのような語りかけを拒絶し、罪に定めなければなりません。

別の非常に気がかりな報告がわたしたちに寄せられています。わたしたちに別の機会に報告されたものですが、ヨシュアはモーセによって十分に訓練されたわけではないと、あなたが言ったとのことです。ヨシュアが「わたしとわたしの家はエホバに仕えます」(ヨシュア記24:15)と言った時、彼が「わたしは」と言ったのは、利己的で個人主義的であったというのです。これはヨシュアの発言についての非常に特異な解釈であり、ほとんどすべての人は、これは主にとっては喜びであったとされています。この個所について、もしあなたが特別な洞察があるとすれば、それは主の回復にもたらされるべき洞察ではなく、そうであるはずもないのです。エルサレムにいた使徒たちは、主の御名を呼んだ人たちの間にはいなかったのです。(サウロによって)迫害された人たちではなかったとあなたが語っていると報告も受けています。この分け与えの文脈では、アナハイムとはエルサレムのことであり

、そこにいる同労者たちとは「エルサレムにいる使徒たち」であり、したがって彼らは彼らの家で主の御名を呼んでいない、ということ暗に言っています。わたしたちはこの解釈の適用は不適切であると思いますが、より重大な事は、この解釈それ自体が主の使徒たちに対する誹謗であり、それゆえに、主ご自身に対する誹謗であると思うのです（参考、マタイ 10:40-41）。ここまで示した語りかけの三つの事例には、神の御言の根拠はありません。実に、そのような語りかけは神の御言に反対しており、信者たちを道からはずれさせ、異議、分裂を生み出し、キリストのからだに損失を与える可能性があります。これらすべてが南米の諸召会で語られているかわたしたちは知りませんが、これらの例はわたしたちが大いに危機意識を募らせるものです。これらは誤った異なる教えであり、あなたの務めと出版物における語りかけは神の御言とは異なっています。わたしたちは、そのような語りかけが新約の務めの一部であると見なすことはできません。

わたしたちに報告されたあなたの語りかけの別の事例は、テモテへの第一の手紙第 1 章 3-4 節で記述されている異なる教えの範疇に入れられるものでありましょう。これらは、神のエコノミーと異なっており、聖徒たちの間で疑問を引き起こすもので、時代の務めと異なる語りかけの事例です。それらは、リー兄弟がテモテへの第一の手紙第 1 章 4 節のフットノートで言っている通り、「うわさ話、言い伝え、真実あるいは虚偽の物語、架空の作り話などの、言葉、話、会話を示しています」。わたしたちは、わたしたちに報告された語りかけの事例で、この範疇に入るものを三つあげようと思います。その語りかけとは、この時代の務めにおいてわたしたちに与えられたものに反対する語りかけです。1) これらの報告によれば、ナショナル・ジオグラフィック社のユーラシア大陸の地図が啓示録第 12 章の大きな赤い龍の外観を持っており、アフリカはある小さな少年の描いた絵に基づいて男の子の生まれる場所であり、ある雑誌の中の別の絵において、アメリカ合衆国を象徴する鷲がその体を北米、その翼を太平洋と大西洋に、その足は南米にしっかりと踏みすえているので、南米は啓示録第 12 章の荒野の一部であるとあなたは語っています。2) リー兄弟は、ヨハネの第 3 の手紙 1 節に出てくるガイオは、使徒行伝第 19 章 29 節、20 章 4 節、ローマ人への手紙第 16 章 23 節、コリント人への第一の手紙第 1 章 14 節に出てくるガイオという名の兄弟とは同一人物と見なすべきでないと言っていますが（Ⅲヨハネ 1 節フットノート 1）、あなたはこのガイオはローマ人への手紙第 16 章 23 節、コリント人への第一の手紙第 11 章 4 節に出てくる人物であり、したがってヨハネの第三の手紙はコリント人に宛てられた書簡であると断言しました。同じように、ヨハネの第三の手紙 12 節のデメテリオは、使徒行伝第 19 章 24 節のデメテリオと同じ人物であると主張していますが、それはリー兄弟の使徒行伝第 19 章 24 節のフットノートとは異なっています。3) あなたは、バルナバとサウロが別れた時、どちらも意見の中にいたと言っていますが、しかしリー兄弟は、「この問題の責任はバルナバにあったはずで、なぜならこの出来事の後、彼はもはや神の新約エコノミーにおける主の動きに関して、使徒行伝の神聖な記録に現れないからです」（使徒 15:39 フットノート 1）と、大きく異なったことを語っています。このように異なって教えている三つの事例のほかにも、わたしたちはあなたの語りかけを書き取ったものを持っています。その中で、あなたはウオッチマン・ニーは命の務めを持っていた、ウィットネス・リーはその霊の務めを持っていた、自分はその霊と命の実行の務めを持っていた、まるであなたがこれらの二人の真の時代の奉仕者たちの継続と完成であるかのように語っています。ドン兄弟、これらの報告はすべて、前に出てきた範疇のものほどには深刻ではない事柄に関するものですが、それにしても「そのようなものは、信仰の中にある神のエコノミー [経綸] ではなく、むしろ疑問を引き起こすだけ」（Ⅰテモテ 1:4）の異なる語りかけと教えの傾向を示しています。

これらの教えはスペイン語とポルトガル語の出版物の中に含まれていたかも知れませんが、わたしたちはそのことで大いに憂慮しています。これらのような異なる教えが南米の諸召会で語られているのに、わたしたちはどうやって南米全土で一つ思いが実現され、維持されることを期待できるでしょうか？ 主と主の回復を愛している多くの聖徒たちも、そのような語りかけを呑み込むことはできませんし、この種の語りかけのゆえに分裂が生み出されようとしています。南米で唯一無二の務めが語られ、出版されないならば、南米の至る所でさらに多くの分裂が間違いなく生じることでしょう。そこで諸召会に二つの務めは存在できません。そうでないと多くの混乱が起こることでしょう。リー兄弟は彼の本とニー兄弟の本をポルトガル語に翻訳する許可をあなたに与えましたが、彼はあなたが彼とニー兄弟の務めをあなた自身の名前で出版する基盤として使うことにも、あなたの異なる教えを彼らの務めのように提示しようとするということにも決して同意したことはありません。2005 年 4 月 4 日から 7 日

にかけて、アナハイムで同労者の交わりにいた人たちは、ある同労者たちとの集会で、リー兄弟が「わたしたちが北米でやっているのと同じ事をあなたは行っていない」とあなたに言ったことを一人の兄弟が証したのを聞きました。ドン兄弟、わたしたちは、わたしたちの歴史をありのままに振り返って、現在の危機がどのようにして起きたのかを認識すべきです。あなたが以前に聞いて、知っている通り、リー兄弟がまだわたしたちと共におられた間、今日わたしたちを悩ませている事の種の見解の不調和と異なった出版があったことについて知っていました。彼は、強くはっきりとした言葉で、あなた自身を含む多くの兄弟たちに、見解の不調和と異なった出版について不快感と批判を表明しました。一方で、彼は忍耐し、時折主の回復のためのあなたの働きについて賞賛しました。リー兄弟がここにおられた間、あなたもあなたの同労者たちも、出版の働きにおいてそれほど大胆ではなかったことも認められるべきです。複数の出版の問題が主の回復の務めにおける複数のラッパになることについてのリー兄弟とわたしたちの感覚について、あなたは長年にわたって知っています。それにもかかわらず、あなたはあなた自身の出版物の割合と頒布を増やしました。ブレンディングの兄弟たちは、リー兄弟の務めを繰り返すという彼らの誓約に対して真実であり続けましたが、あなたはますます自分自身の書籍を出版しています。これは、すべての諸召会の益のためにブレンディングの兄弟たちを通して遂行されている普遍的な務めに対抗する務めのあらゆる外観を持っているのではないのでしょうか？ そのような異なる教えが継続して語られ、わたしたちに報告されているようにいくつかの場所では異なった種類の支配が行なわれているので、わたしたちは南米における主の回復の働きについて大いに憂慮しています。

以上引き合いに出された七つの事例は、わたしたちに報告されてきている類の事柄をただ代表しているにすぎません。わたしたちは、同じようなほかの多くのことが南米で語られているのではないかと心配しています。しかし、これらの事例は、主の回復における主の一つの務めの中で、異なる語りかけ、異なるラッパの音をはっきりと示しています。これに関連して、リー兄弟が長老訓練の第七巻「主の動きのための一つ心」（101-102 ページ）で語ったことを思い起こしたいと思います。

いわゆる働き人、指導する人たちの中には、務めの一つ路線に従わないで、別の路線を取ることでもできると思う人たちがいます。このように彼らは考えており、また明確な解き明かしのない異言を語ることに注意を払う必要はない小さなことであると考えます。ある程度、わたしたち自身も過去にこのような考えを持っていました。しかし、わたしの忍耐も尽きてこのような厳しい言葉を与えましたが、ある兄弟たちは否定的にではなく、わたしについて非常に積極的に愛を感じるかもしれません。また、このような小さな事柄に、わたしがそんなに厳格でなくてもよいのと思うかもしれません。わたしは過去に同じような考えを持っていましたが、学びを通して、新約の中で戦闘のために準備をするラッパを吹く例証があるのは、コリント人への第一の手紙の中で（14:8）用いられているだけであることを認識しました。このコリント人への第一の手紙における例証は、神格におけるキリストのパーソン、あるいはきわめて重要なキリストの永遠の贖いと関連で用いられているものではありません。この例証が持ちられているのは、異言の解釈という小さな点についてです。・・・・・・これは異言を語ることについてであり、わたしたちが非常に小さいと考えることですが、使徒パウロはこの節に「戦闘」という言葉を挿入しました。だれも戦闘を小さなことと考える人はいません。戦う軍隊には、士気が必要であり、戦うための団結心が必要です。このような士気を維持するためには、最も小さな事柄での小さな不一致さえ、殺されなければなりません。もしその小さな反対意見が殺されないなら、士気は失われます。士気がなくなると、確かに軍隊は戦いに、戦闘に敗れます。このことは主の務めが重大であることを、わたしに警告するものです。主の務めは、軍隊が戦争に出て行くためにラッパを吹くのと似ています（民 10:9。士 7:18）。主の務めは戦闘の事柄です（II テモテ 2:3 とフットノート 1——回復訳聖書）。

もし一つの場所に二つの出版があるなら、そこには二つの働きが存在し、やがては混乱と分裂が起きってしまうことでしょう。キリストのからだは一つです。ですから、からだには唯一無二の声を持つ唯一無二の口があるべきです（ローマ 15:5-6）。これは間違いなく制限ですが、もしわたしたちがキリストのからだの制限を顧慮しなければ、わたしたちの働きは不法となり、キリストのからだを損なってしまう。リー兄弟が主のもとにいて以来何年間も、あなたのポルトガル語とスペイン語の出版は北米、南米、ヨーロッパ、アフリカでの主の回復において、ますます混乱と争論を巻き起こして

います。この混乱と争論についての苦情がこれらのすべての大陸からわたしたちの耳にまで届いています。親愛なるドン兄弟、あなたの福音の働きがよい結果をもたらしたら、それらの結果はあなたの働きを正当化すると単純に考えないよう、わたしたちはあなたに切にお願いします。ニー兄弟とリー兄弟の模範に従って、わたしたちはキリストのからだにおける一を召会、務め、働きのためのより高い支配原則として取らなければなりません。そうでないなら、主の回復はキリスト教と何の違いもなくなってしまいます。もしわたしたちがキリストのからだにおける一をわたしたちの支配原則として取らないならば、わたしたちは一体どのようにして自分たちを主の回復と呼ぶことができるでしょうか？ キリストのからだの一にどのような衝撃を与えてしまうかを無視して福音の働きを顧慮するならば、わたしたちはどこがキリスト教と異なっているのでしょうか？

2005年5月、アナハイムでの同労者たちの最近の集会において、南米を含む六つの大陸が諸召会からの兄弟たちで代表されました。これらの集会で、あなたとタイタス・チュー兄弟の出版と頒布によって引き起こされた混乱について証しました。多くの同労者たちの嘘偽りのない交わりがありましたが、大半は今日の主の回復において異なった出版のゆえに起こった多くの困難な状況に対して彼らが感じている不満に関連するものでした。わたしたちはまた、同じことで苦しんできた他の人たちが証しをする機会がなかったことも知っています。疑いもなく、主の回復はニー兄弟とリー兄弟の務めを通して六大陸にそれぞれもたらされましたが、現在、異なる務めが異なる語りかけをもって世界中の多くの場所で促進され、広められています。これは、南米から六大陸の多くの国々の都市を訪問したり移住したりしたあなたの同労者やほかの聖徒たちを通して起きているのです。その反応として、この問題についての多くの苦情の声が上がってきているのです。このことのゆえに、いかなるものであれ、あなたの務めを、特に「日ごとの食物」として出版されている日々の読み物である書籍を、いかなる媒体によってもポルトガル語でもスペイン語でも、またほかのいかなる言語でも、あなたやあなたの同労者がほかの国々に持ち込んだり輸出したりしないように、わたしたちは求めます。わたしたちはまた、あなたやあなたの同労者たちが、ほかの国に訪れたり移住したりするいかなる聖徒たちに対しても、ウオッチマン・ニー兄弟とウイットネス・リー兄弟の出版物のみを広めるよう忠告するように求めます。

諸地方召会のすべての聖徒たちは、ほかでもないウオッチマン・ニー兄弟とウイットネス・リー兄弟の務めこそが、彼らの場所で主の回復がもたらされるに際して信頼に足るものであるという事実を尊重しています。すべての場所において同労者たちと聖徒たちは、すべての場所における主の働きを尊重し、その地での導きに従って集会し、奉仕すべきです。これら二人の兄弟、ニー兄弟とリー兄弟のもの以外の別の務めがある場所に持ち込まれたなら、ごく自然にその場所で務めに対する対抗勢力が現れて、主の働きが損なわれます。すべての大陸のすべての同労者たちは、同じ事を語り、同じ歩調で歩み、同じ出版の同じ務めを広めるべきであると、わたしたちは信じます。あらゆる場所の諸召会が建造されるために語られ、発展させられる必要があるものは何であれ、聖書にある教えに基づき、今日の主の回復のためにこの時代の務めにかかわってきたわたしたちの二人の兄弟たちの著作の中に見いだされると、わたしたちは信じます。主の権益とエコノミーのために、わたしたちはみな一つ心を持ち、一つの道を取ることはできないのでしょうか？ もし南米にいる多くの兄弟たちがこの一つの道を取ることはできないなら、彼らは最低でもあなたの本をほかの国々に広めないことで問題の原因となることを停止できるではありませんか？ 地上で一つの証しを維持するためにこれらの要求をする一方で、わたしたちが南米における主の回復の将来について大いに憂慮していることを告白しなければなりません。わたしたちが受けた報告によれば、南米の多くの聖徒たちが時代の務めを求めて叫んでいるにもかかわらず、それが奨励されていないこと、ある場所ではそれが許可されてさえいないことを、わたしたちは十分に承知しています。この務めは、いかなる召会であろうと禁止されるべきでしょうか？ 南米で不満と不一致と分裂が育ち、増加してしまわないために、あなたが南米のすべての兄弟たちが、ニー兄弟とリー兄弟の務めだけをうけ、南米におけるポルトガル語スペイン語の両方の主の回復における務めの働きを遂行するために強い決断を下して導くように、わたしたちはあなたに訴えます。あらゆる場所のすべての聖徒たちは、霊的な供給と建造のためにニー兄弟とリー兄弟の著作を享受するよう励まされるべきではありませんか？ キリストの一つからだの建造という一つの目的のために、わたしたちは全地のすべての回復を一つの務めへともたすことはできないのでしょうか？ わたしたちは、あなたとあなたの同労者たちが、この問題を解決できる唯一の人たちとして、必要な行動をおこすように強く励ましているのです。主の回復における一のために、わ

たしたちがあなたがすべての言語におけるあなたの出版を停止するように訴えかけます。とりわけ、あなたがあなたの地域のほかの同労者たちと聖徒たちを導いて、ほかの諸召会や聖徒たちと共に、ニー兄弟とリー兄弟の務めを平安に満ちたに追求に戻ることが出来ればと、わたしたちは願っています。あなたが主の回復における諸召会間の一の建造に真にあずかり、立ち帰ることができるようにと、わたしたちは願っています。あなたとあなたの同労者たちが新しく決心して、主の回復におけるブレンディングの兄弟たち、諸召会、聖徒たちとの交わりを通して一を実現できるようにと、わたしたちは切に願っています。あなたが実際的な方法で同労者たちとブレンディングされ、彼らによって制限を受けることを決心して、彼らとの交わりに戻ることができるようにと、わたしたちは願っています。主の唯一無二の回復において、わたしたちの尊い遺産を通して、わたしたちと共に特別な絆にあずかる、主にある奴隷仲間として、ドン兄弟、あなたと、あなたと共に労苦するすべての兄弟たちを愛します。

親愛なるドン兄弟、過去において、主があなたに恵みを与え、ニー兄弟とリー兄弟の一つの務めを通してブラジルとそのほか南米各地において多くの聖徒たちに神のエコノミーをもたらすことができたことを、わたしたちは主に感謝しています。リー兄弟が1984年に彼のブラジル訪問について北米の聖徒たちに語られた報告において言われた言葉を、わたしたちは決して忘れることはできません、「広がりが増し加わりのために祝福が臨んだのは、おもにライフスタディのメッセージを用いることによりました……創世記、出エジプト記、ヨハネによる福音書、その他の数冊のメッセージです。聞いてください。彼らは本当に少数でしたが、祝福するために主によって用いられてきたのです」。回復全体は、回復全体に多くの祝福をもたらすこの単純な道に戻ることはできないのでしょうか？同時に、わたしたちはあなたがあなたの働きの結果によって高揚しないように請い求めます。神は、キリストの花嫁としてのキリストのからだを建造されることを求めています。ただ単に大勢の人を得ることは花嫁を構成しません。そうでなければ、キリスト教はとうの昔に神の地上における權益を満たしていたことでしょう。わたしたちの働きは、神のエコノミーの中でキリストを純粹に分け与えることでなければならず、十字架の働きは天然的であるもの、キリストからでないものをすべて終わらせなければならないのです。ドン兄弟、主の回復における団体的な務めの一部として神があなたに与えた務めが栄光の結果に至るように、最終的に全地の主の回復における諸召会の聖徒たちの間で、多くの苦難、損害、混乱、分派という結果に至るものではないように、わたしたちは願い、祈ります。わたしたちは、あなたがあなたの出版物の頒布を停止することをいとわないようお願いいたします。それは、ほとんどすべての大陸でニー兄弟とリー兄弟の務めからそらすものとなってしまっており、彼らの務めと競合し、対抗する務めとさえなってしまうからです。主の回復にあるわたしたちの奉仕すべてが、主の御前と聖徒たちの前で、栄光の結末を迎えますように。

この簡潔な歴史は、リー兄弟がこの世を去って以来、主の回復における雰囲気と活動で何が変化したかを説明します。今日、わたしたちは物事がこの程度にまで発展してしまうのを許してしまったことを悔やんでいます。あなたは南米における主の回復の働きに緊密に関係しており、また主の回復における一般的な負担にもあずかっているのですから、あなたはあなたの仲間の同労者たちからこの交わりの益を得るべきです。この手紙によって近年主の回復を悩ませてきた諸問題がいくつか解決され、わたしたちすべてが主の回復におけるわたしたちの将来のために共にどのように歩むべきか一層明瞭な展望を持つことができるように、わたしたちは願っています。四月の同労者たちの交わりの間、わたしたちの間の複数の出版によって持ち込まれた混乱によるすべての大陸の諸召会間と主の回復における働きにおいて増大している問題について、同労者たちが強い証しをしたことを、わたしたちは再度強調しなければなりません。多くの兄弟たちがこの状況についての強い不満の感覚について交わりましたが、また解決を見ることを強く切望しました。リー兄弟がわたしたちのものを去って以来、こんなにも率直で感覚に満ちた同労者たちの交わりはありませんでした。あなたもご存知の通り、多くの同労者たちは複数の出版によってもたらされた違いを軽視しようとし、様々な地方的問題を鎮めようしました。この対応は全く効果がありませんでした。その内在的な問題は、リー兄弟が去って以来、主の回復において普遍的な務めに対して対抗する方法で他の語りかけや出版が存在し、使用されているということだからです。あなたは「対抗」という言葉に反対するかもしれませんが、それは聖徒たちが感じており、味わっていることなのです。わたしたちは、多くの真の諸地方召会と親愛なる聖徒たちが長年あなたの顧みの下にあることを知っています。わたしたちは、同労者たちと聖徒たちがウオッチマン・ニー兄弟とウイットネス・リー兄弟の務めを愛し、尊重していることを知っています。

す。これは否むことはできません。残念ながら、多くの聖徒たち、実に多くの聖徒たちが同意できないあなたの務めによって産み出された味わいと雰囲気があることも否定できないのです。こういうわけで、あなたが出版すればするほど、一層多くの問題が現れるのです。これらの問題は、今や全世界に増え広がりつつあります。問題は噂話の原因であるとか、特別集会や訓練の時に講壇からの語られる論評が原因であるなどほのめかされてきています。しかしながら、このように言うことは聖徒たちの内側にある命の内在的感覚と霊的な判断を軽視することになります。あなたがこれらの非合理的な解釈と個人的な感情を越えて、現に存在している真の相違点と、それが原因となって起きている諸問題について熟慮することをわたしたちは願っています。

要約して、この手紙でわたしたちが表明した憂慮している幾つか点について、再び述べたいと思います：

1. わたしたちはみな、この時代の務めの支配するビジョンの下で、主の回復の中で彼に仕えたいと望んでいます。主の回復の中におけるわたしたちの働きはすべて、キリストの一つからだの建造のビジョンによって統治されなければならないのであって、いかに聖書的、あるいは霊的であろうとも、より劣る他のいかなる結果によって統治されるのでもありません。
2. このビジョンはウオッチマン・ニー兄弟とウイットネス・リー兄弟によってわたしたちに供給されたものであり、わたしたちは彼らがわたしたちに手渡したものに対して、何かを足したり、引いたり、修正したりする必要はまったくないと感じています。彼らの務めの偉大な価値と効果は長期間わたしたちの間で経験的に確かめられ、その価値と効果は今もなお補いを必要とすることなく継続しています。
3. 南米で異なる語りかけが起こされてきました。それは、あなたの務めを通して、またその地の何人かの同労者たちによってあなたの務めが推し進めることを通して起こされてきました。この異なる語りかけは、新約聖書の著者たちへのきわめて深刻な誹謗から、解釈上の小さな項目における相違にまで及んでいます。これらのものが及ぶ範囲は、諸召会の親愛なる兄弟姉妹たちの間での疑問を産み出しており、彼らの士気と立場に大きな影響を与え、ある人たちは召会の集会に参加することをやめてしまうまでになっています。わたしたちは、あなたの出版を、わたしたちの間の不確かなラッパの音であると見ています。
4. 四月の国際的な同労者たちの交わりで表明された感覚は、わたしたちの間の複数の出版は多くの問題を引き起こしているというものです。わたしたちは諸召会の妥当性や同労者たちの誠実さを問題にしているのではなく、あなたとあなたの同労者たちが、この問題を解決できる唯一の人たちとして、わたしたちの間の一を守るために必要とされる行動を取るよう訴えているのです。
5. わたしたちは、あなたとあなたの同労者たちが、あなたの出版物を生産し、頒布することをやめるようにと求めます。
6. あなたとあなたの同労者たちが、主の回復における務めの働きを遂行する際に、ニー兄弟とリー兄弟の出版物のみを用いるように、わたしたちはさらにあなたに強く勧めます。

最後に、ドン兄弟、あなたにこれらすべての事柄をもたらすにあたって、南米の諸召会が真の地方召会であること、あなたがたのすべては今日の主の回復の一部であることを否定するものではありません。わたしたちは喜んで、あなたたちとわたしたちは全世界の主の回復における諸召会であることを主張します。しかし、わたしたちが書くのは、務めの中で諸召会に出て行く結果のゆえです。わたしたちがすでに述べたとおり、主の回復における務めの中にはラッパの音は一つだけ存在すべきであり、この事柄においてわたしたち務めを継続する者たちは厳格でなければなりません。地方召会としてのわたしたちの立場は一つのことです。務めの中でわたしたちが共に労苦することはまた別のことです。このことについて、わたしたちはリー兄弟のこの言葉で締めくくりたいと思います：

ある召会が務めを取るかどうかは、召会が真の地方召会であるかどうかを決定するものではありません。このメッセージのタイトルは「主の回復の中で不確かなラッパの音を出さない」ではなく、「主の務めの中で不確かなラッパの音を出さない」です。わたしは主の回復におけることを語っているのではなく、務めについて語っているのです。……宗派、分派を離れ、正当な立場に立ったすべての聖徒たちは、彼らの地の地方召会です。彼らは自分の意見を表明

することができますが、この務めに対して何も言うことはできません。

このゆえに、この務めはだれかがその中にいる振りをして、何か異なったことを言うことを許すことができないのです。これはわたしがあなたの地方召会から離れるように求めるとか、あなたの地方召会がもはや地方召会でないという意味ではありません。わたしが交わっているのは、主の回復における彼の権益のために戦う務めの衝撃力についてです。

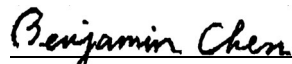
わたしたちは衝撃力に満ちた軍隊を持つ必要があります。また軍隊は、誰も自分の意見を言う余裕とか時間はありません。わたしたちは戦いを戦っているのです。この軍隊はすでに台湾で戦いを始めました。今や、わたしたちは戦いを戦うこの軍隊が合衆国だけでなく、カナダでも、南米、ヨーロッパ、アフリカ、南洋州でも、アジア全体でも増し加わっていくのを見たいのです。わたしは勤めについて語っているのです。務めは一つのものであり、諸召会は別のものです。この二つのものは、パウロによって書かれた書簡の中で区別することができます。パウロの務めは一つの部類であり、諸召会は別の部類です。（長老訓練、第7巻、「主の動きのための一つ心」 108、110-111 ページ）

親愛なるドン兄弟、この事柄を遂行するための最善の道について、あなたとあなたの同労者たちとのさらに交わるために、わたしたちは自分自身を開きたいと思います。わたしたち、アフリカ、アジア、南洋州、ヨーロッパ、北米を代表する兄弟たちは、今日の主の回復における最優先項目である一の証しを真に解決し、復興するために、ドン兄弟、あなたの交わりと、あなたの同労者たちとの交わりに開いています。これらすべての事柄を、あなたが祈りの中で主にもたらしてくださいように、わたしたちは求めます。

あなたの兄弟たちより



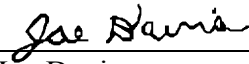
Francis Ball



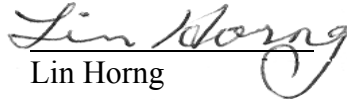
Benjamin Chen



Minoru Chen



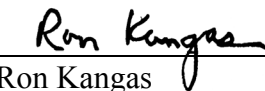
Joe Davis



Lin Horng



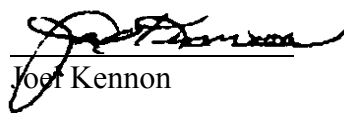
Kung-Huan Huang



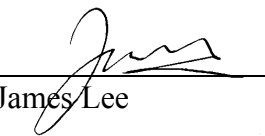
Ron Kangas




Elton Karr



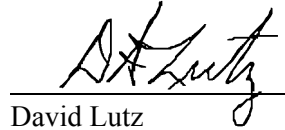
Joel Kennon



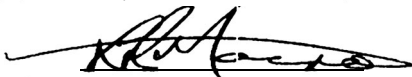
James Lee



Albert Lim



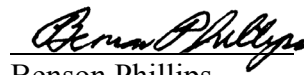
David Lutz



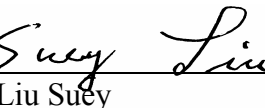
Ray MacNee



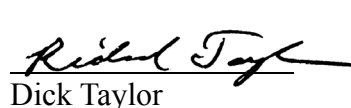
Ed Marks



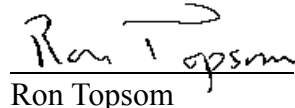
Benson Phillips



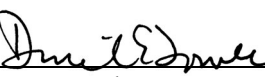
Liu Suey



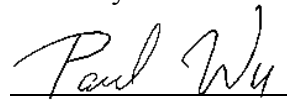
Dick Taylor



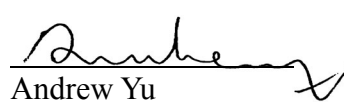
Ron Topsom



Dan Towle



Paul Wu



Andrew Yu